

## 株式会社UCS(8787) 2015年2月期第3四半期決算発表

## 1. 経営成績

〔単位:百万円〕

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期 純利益
2015年2月期第3四半期 (前年同期比)	13,713 (7.0%)	2,523 (1.2%)	2,524 (1.2%)	1,452 (△4.5%)
2014年2月期第3四半期 (前年同期比)	12,817 (2.4%)	2,492 (34.2%)	2,495 (34.0%)	1,520 (38.4%)

## 2. 部門別概況

## (1) 包括信用購入あっせん(クレジットカードショッピング)

包括信用購入あっせんは、消費増税率引き上げ後にともなう影響と、物価上昇の懸念により、依然として先行き不透明な状況にあります。当第3四半期累計期間においては、アピタ・ピアゴにおけるカード会員向け営業企画の実施等により、稼働率、請求単価が向上し堅調に推移いたしました。その結果、取扱高は、4,475億97百万円(前年同期比8.0%増)、営業収益は、91億77百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

## (2) 融資

取扱高は、総量規制の影響等により伸び悩み、引き続き厳しい状況が続いておりますが、貸付金残高の減少幅も縮小しつつあります。取扱高は、106億63百万円(前年同期比2.6%減)、営業貸付金残高は、前事業年度末に比べ6億20百万円減少し、129億9百万円となりました。その結果、営業収益は、17億53百万円(前年同期比12.0%減)となりました。

## (3) 保険代理業

クレジットカード会員様向け通販保険が苦戦しておりますが、テレマーケティングと対面販売の組み合わせによる営業強化に取り組みました。損害保険は堅調に推移し、営業収益は、12億62百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

## (4) 電子マネー

2013年11月より開始した電子マネー「ユニコ」は、サークルKサンクスをはじめ利用場面の拡大に取組み利便性が向上しました。また、会員数は93万人と期首比54万人増加しました。

この結果、取扱高は693億49百万円と堅調に推移し、カード発行手数料等と合わせた営業収益は7億93百万円となりました。

以上の結果、その他の収益と合わせて全体の営業収益は、137億13百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

### 3. 営業費用

包括信用購入あっせんおよび電子マネーの取扱高増加に伴うポイント費用の増加や貸倒関連費用の増加により、営業費用は、111億90百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

### 4. 営業利益・経常利益・四半期純利益

以上の結果、営業利益は、25億23百万円(前年同期比1.2%増)、経常利益は、25億24百万円(前年同期比1.2%増)、四半期純利益は、14億52百万円(前年同期比4.5%減)となりました。